

平成 27 年度 第 10 回 市長と語ろう！タウンミーティング 議事録
(市長と巡ろう！ 地域資源再発見ツアー 須藤本家株式会社編)

開催日時 平成 27 年 11 月 29 日 (日) 午前 10 時～午後 0 時 30 分

開催場所 須藤本家株式会社

参加者 30 人

《フリートーク (意見交換)》

- 1 須藤本家の PR について
- 2 酒造りとクラシック音楽について
- 3 ジオパークと須藤本家について
- 4 年間観光客数について
- 5 スマートインターチェンジについて
- 6 地域交流センターについて
- 7 スクールバスについて
- 8 外国人観光客の誘致について
- 9 高齢者の交通手段について
- 10 宿泊施設について
- 11 空き家の斡旋について
- 12 空き家の固定資産税について
- 13 酒蔵の取り組みについて
- 14 笠間稲荷門前通りについて
- 15 友部駅について
- 16 空き家の貸し出しについて

《内容》

- 1 須藤本家の PR について

【意見等】

須藤本家さんをもっと PR できないか。

【回答】

市内には 4 つの酒蔵があるので、須藤さんだけとはいかないのですが、4 つを PR していきたいと思います。

2 酒造りとクラシック音楽について

【意見等】

福島には日本酒にクラシック音楽を聞かせている酒蔵もあるが、それについてどうお考えか。

【回答（須藤本家）】

酵母と音楽の因果関係が証明されていないので、イメージだと思います。

3 ジオパークと須藤本家について

【意見等】

ジオパークという取組みがあるが、このツアーに須藤さんなどの酒蔵を組み込んではどうか。

【回答】

ジオパークと酒蔵を合わせるのも1つの方法だと思います。

4 年間観光客数について

【意見等】

笠間の年間観光客数は約350万人と多いが、どのようにしてPRしているのか。

【回答】

笠間にはイベントが多く、三が日の笠間稲荷神社や陶炎祭、菊まつりで約210万人の観光客が訪れます。他に小さなイベントもあり、ゴルフに来る人なども観光客として数えると、350万人くらいになります。これは県内で大洗に次いで2番目の多さです。

課題としては、いかに一年を通して観光客を呼び込めるかということです。今のところ、陶炎祭や菊まつりなど大きなイベントを対外的にPRしていますが、隠れた地域資源も多いと思うので、そうしたものを掘り起こしてPRしていきたいと考えています。

5 スマートインターチェンジについて

【意見等】

笠間地区にスマートインターチェンジがあると便利だと思う。イベント時の渋滞の緩和にもなる。

【回答】

スマートインターチェンジを作る場合、インターチェンジ間に一定の距離が必要であるなど、国の基準を満たす必要があるため、難しいです。笠間のパーキングエリアで降りら

れるようにできないか検討したこともありますが、降りた先の道路の幅や地形などの問題があり実現できなかった経緯があります。

6 地域交流センターについて

【意見等】

地域交流センターを友部駅の南側に建設予定だが、友部公民館もあるのに作る必要があるのか。また、作るとして、地域の名産品や須藤本家のお酒などを置いてはどうか。

【回答】

地域交流センターは、現在整備の発注をしたところですが、これまでに説明会などを行い、使い方について市民の意見を積み重ねてきています。交流センターを作る理由ですが、笠間地区には15の地区公民館があり地域活動の拠点となっていますが、友部地区と岩間地区には集会所はありますが、公民館はそれぞれ1つしかないため、作ることにしました。特に友部公民館は利用率が高く、貸りられないことも多い状況です。また、公民館は入場料をとるようなイベントには貸すことが難しく、物品の売買ができないなどの制限もあります。地域交流センターでは、こうした制限が少なく、公民館とは違った使い方ができると考えています。運営主体については議論中ですが、民間に委託した方が良いのではと考えています。

また、交流センター内にはカフェを作る予定です。そこに地元のお酒を置いたりするのは良いと思います。

7 スクールバスについて

【意見等】

学校の統廃合により、通学バスが有料になったと聞いた。市は子育て支援に力を入れていると思うので、地域交流センターなどよりも、こちらにお金を使った方が良いのではないかと。

【回答】

通学バスに関しては、学校から4km以上の地区が対象ですので、該当する方は無料です。ですが、4km未満の範囲にお住まいの方でも、乗りたいという方がおり、検討した結果、希望者には一部負担をお願いした上で、乗っていただくこととしています。

8 外国人観光客の誘致について

【意見等】

外国人観光客の誘致に力を入れるべき。笠間は栗や陶芸が魅力だが、PRが足りないように思う。笠間焼のおちょこを作ってお酒を飲むなど、陶芸と酒蔵を組み合わせたらどうか。

【回答】

外国人観光客誘致については、県と協力しており、現実に台湾や中国の旅行会社が視察に来ています。焼き物や神社、酒蔵などを見てもらっていますが、まだ呼び込みにはつながっていません。案内する場所も重要ですが、受入体制の整備も重要です。笠間観光協会などと勉強会を行い、英語ができるスタッフを配置したり、wi-fiを整備したりということを検討しています。呼び込みと受入体制の整備を同時に行っていきます。

また、栗については、栗拾いをやりたいという要望が多くあります。栗農園を借りて、トイレを整備し、栗拾い体験をすることも検討しています。

農家は生産はプロですが、PRまでしっかりとできるわけではないので、JAなどと一緒にPRに取り組んでいます。

9 高齢者の交通手段について

【意見等】

70歳を超えて、いつまで車を運転できるか不安。バスもデマンドタクシーも使いにくい。家に引きこもっている高齢者に外に出てもらうようにするには、交通手段が大切だと思う。

【回答】

高齢者の移動手段に関しては、公共交通機関でまかなうしかないのではと思います。現在、市内の交通手段としては、赤バス、スクールバス、デマンドタクシー、路線バスなどがありますが、ばらばらにやっており、これらを統一できないかという議論もあります。例えば、スクールバスを使っていない日中に、交通手段として使えないかなどです。

デマンドタクシーに関しては、待ち時間が多いという意見がありますが、台数を増やすにはお金がかかるので、結局利用者が我慢できる範囲の中で利便性を高めるよう、財政とのバランスを考えていく必要があります。なお、免許返納者にデマンドタクシーのチケットを渡すといった取組みも行っているのですが、さらに充実させていきたいと思っています。

10 宿泊施設について

【意見等】

観光客に笠間で泊ってもらえるようにできないか。

【回答】

宿泊施設がないことは課題です。震災で山の荘や井筒屋などが廃業したことは非常に痛手となっています。学生がスポーツの大会に来て、市内には泊るところがありません。ホテルの誘致を積極的に行っていますが、難しいところがあり実現していません。企業誘致に関しては優遇措置がありますが、ホテルの誘致においても、水道料金を安くし

たり、土地を貸したりなどの措置をとれないか、内部で案を作っているところです。

また、オリンピックに向けて、民泊の充実も重要です。先日、焼き物関係での民泊について、特区を利用できないか、内閣府に説明をしに行ってきました。古い窯元にはお弟子さんが使っていた空き部屋があるので、そこを利用して宿泊してもらおうことを考えています。お金をとって、3日間陶芸体験をしてもらおうというのは良いと思います。笠間でしかできないことです。

11 空き家の斡旋について

【意見等】

市内に空き家が多い。空き家を安くあっせんできないか。

【回答】

空き家には、適正に管理されているものと管理されないものの2種類があります。

管理されていないものに関しては、持ち主に取り壊しや草刈りなどをお願いしています。100件くらい情報提供があったうち、半分くらいは適正に管理できるようになりましたが、持ち主が近くに住んでいないなどの理由で、進まない面もあります。

適正に管理されているものに関しては、空き家バンクを使ってあっせんしており、実際に住むようになった人もいます。しかし、空き家の持ち主は貸したいというよりも売りたいと望んでおり、笠間に住みたいと思っている方は借りたいと思っているので、そこにミスマッチが生じています。貸す場合も、トイレやお風呂の改修費用などに援助ができないかと考えています。来年は専門の部署を作り、取り組んでいく予定です。

12 空き家の固定資産税について

【意見等】

空き家を取り壊すと、土地の税金が高くなるので、取り壊さないと聞いたことがある。

【回答】

国で法律を改正予定です。

13 酒蔵の取り組みについて

【意見等】

4つの酒蔵で協力した取組みができないか。

【回答（須藤本家）】

笠間市で乾杯条例ができましたが、条例制定後、4つの酒蔵で相互交流やイベントを開催しています。また、他の自治体とも交流し、協力して情報発信をしています。お酒を単独

で考えるのではなく、例えば地元のお米を使ったり、いろいろな料理・農作物と組み合わせたり、しつらえの花に菊を使ったり、お酒を注ぐ器だったり、複合的に考えて地元にお金が入る仕組みを作りたいと思っています。こうした取組みを、4つの酒蔵と一緒に going います。

14 笠間稲荷門前通りについて

【意見等】

笠間稲荷門前通りを車通行禁止にしたらどうか。歩けばお店に行く。駐車場を荒町に集約して、歩いてもらえるようにしたらどうか。

また、パンフレットには番地が記載されている。せっかく笠間はさまざまな地名がついているのだから、パンフレットにも地名を使ってはどうか。

【回答】

笠間稲荷門前通りの整備のときに、一方通行にしたいと考えていましたが、駐車場経営者の考えがありできませんでした。イベント開催時には土日だけ歩行者天国にできたらと思っていますが、駐車場経営者の合意が得られません。駐車場の場所を移してもらうことも検討しましたが、経営者にとっては生活の死活問題につながり、受け入れてもらうことは難しいです。

滞在時間を長くする方法として、旧井筒屋の建物を後ろに引いて、稲荷駐車場に大型バスを誘導し、そこから門前通りまで歩いてもらうことも考えています。

15 友部駅について

【意見等】

友部駅を降りると寂しい雰囲気なので、地域のものなどを設置してアピールしたらどうか。

【回答】

駅の自由通路にあるガラスを利用して、おしゃれにPRすることができないか検討します。

16 空き家の貸し出しについて

【意見等】

点在する空き家に泊れるように、市で管理し貸し出すことはできないか。

【回答】

クラインガルテンの都市型のような一定のエリアを作って、泊れる施設にできないか、1年間貸し出すといったことができないかなど、工夫していきたいと考えています。しかし、点在している空き家では、誰が改修費用を負担するかが課題であり、市が管理していくこ

とは難しいと思います。

また、空き家に民泊となると、周りに住む人へ影響があるので、どこでも泊れるようにはできないと思います。一定のエリアを区切ってやっていくことが必要だと思いますし、いろいろな角度から考えています。